



緑の園



3月号

ヒルトップハイツ



グリーンプラザ

デイサービスセンター

だより



第81号

令和5年3月1日発行

Who Do We Think We Are/Deep Purple(1973)

啓蟄の候、いよいよ雪解けの季節がやってきました。

まずは、先月の掲載記事の少し追加から…。

先月、当法人に勤務する介護職員の離職率は極端に低く、今年度は1名だけと紹介させていただいたのですが、もう一つ低いものがあります。

紙数の都合から紹介できなかったことですが、実は採用率も随分と低いんです。

今年度新規採用の介護職員は1名だけでした。

遠軽あるあるだとおもいますが、丸瀬布から遠軽の事業所に通うのは距離を感じないらしいのですが、遠軽から丸瀬布に通うことは「そんな遠い、山の中へ何で…」とかなりの距離が離れている感覚みたいです。

たぶんというか、間違いなく丸瀬布から遠軽までの距離と遠軽から丸瀬布までの行帰りの距離は同じだと

思いますのでもう一度計りなおしていただきたく存じます。

別な何かで敬遠されているのであれば対処もしよう



がありますが距離が…。というのは何ともしがたいので勘弁してください。

通勤時間に

関しては2~30分程度の通勤時間は逆に仕事モードのON/OFFにちょうどいい時間であるといっていた職員が何人かおりました。

まあ、法人として「やめない職場づくり」は少しずつではあっても結果が出始めております。

それに加えてこれからは「距離を感じない身近な職場」目指したいと思っております。

紹介が遅れましたが、離職率の低さは特筆もので先月の記事をご覧になられた方々から評価していただき

ましたことをとてもうれしく思います。

で、今月もどうぞよろしくです。(おばら)



改築移転工事の進捗状況。



3月に入り14カ月間にわたる工期も7割が経過しようとしておりますが、いただいた「工事出来形予定表」では工事全体では5割を少し切るく

らい、ヒルトップハイツに関しては4割くらいの状況
だそうです。

何しろ3つの事
業所が一つの建物
に入るとこのこと
の複雑さをこの工
事をつくづく感じ
ます。



雪解けが進む今
月下旬から来月にかけて再び工事現場の活気を身近に
感じてくるとは思いますが、ここまでくると完成が待
ち遠しくなります。



今月もどうぞよろしく
お願いします。



いよいよ暦も3月「弥生」となりました。

で、3月3日は「上巳の節句」（桃の節句）です。

いまさらながらでとてもお恥ずかしいですが、お雛
様に飾られているピンクの花は「桃」である。という
ことをつい最近知り
ました。（桜だと思っ
ておりました）

人間いくつになっ
ても勉強だな、など
とつくづく感じてお
ります。



ちなみにですが3月3日の花は「桃の花」。花言葉
は「気立てのよさ」だそうです。

お話は先月に戻ります。先月は「節分」にまつわる
豆まきをヒルトップハイツ、丸瀬布デイサービスセン
ター、グリーンプラザで行いました。

「鬼は外!、福は内!」と掛け声勇ましく鬼に向けて
豆をぶつけストレスを発散しておられました。

日本の場合鬼は成敗されてしまいますが、成敗され
た後きちんと祀られているそうです。（「世界鬼学会」に
よるとこうやって鬼にも敬意を払うのは日本だけで海外には一切
みられず、やられっぱなしだそうです。例えばゾンビなんかはや
られてばかり…。って、これは違うか?）

「豆まき」は年中行事ですが、うららかな日差
しに心地よさを少しずつ感じることが出来る気も
して、皆さんにこやかに興じておりました。

さて、新型コロナウイルス感染症に関しては目
に見えて感染者数が減ってきている状況です。

当法人に入居されておられる方々につきましても希望される方全員の予防接種が完了いたしまし
た。

北海道に限らず全国的にも、新規感染者数は減
少傾向にあり今後もこの状況が継続すると考えら
れています。

新型コロナウイルス感染症の法律上の位置づけ
について基本的対処方針が今年の5月8日から5
類に移行されることが政府対策本部で決定されま
したが、新型コロナウイルス感染症は「感染力が
強いことには変わりはなくお年寄りにとっては変
わらず脅威」です。

私たち職員にとっては引き続き今まで同様の感
感対策は必要となります。

今後の感染状況にもよりますが今しばらく、ご
面会の制限の継続を含め施設で実施しております
感染対策の変更はありませんのでご理解・ご協力
を賜りますようお願い申し上げます。

とはいっても
少しずつではあ
りませんが光明を
感じることがで
きるようになり
ました。

皆さん、もう
少しの辛抱です。がんばりましょう。（おばら）

～編集後記～

今月は3月です。本格的な春の訪れとともに別れの季節で
もあります。私がこの職業に就いてから今日までいろいろな
ことでお世話になった先輩から退職の連絡をうけました。

心から尊敬していた方だったのでとても寂しいです。別れ
るために人は出会ってしまうんでしょうけどやっぱり別れは
残酷ですよ…。と、どうしても思っちゃいます。（おばら）

